

○ 水戸三高の文化祭『あおい祭』（特別回）が6月23日(金)・24日(土)に開催されました。その内容を特集してお届けいたします。

1 あおい祭実行委員長（3－6 大南 志穂）より



私があおい祭特別回の実行委員長を務めて気づいたことがあります。

それは、自分一人だけでは完璧にはなれないということです。私はクラスの出し物の準備とダンス部のダンスステージと文化祭実行委員長の仕事の三つをこの文化祭でこなしてきました。しかし、このすべてを同時にこなすのは困難で、何度もくじけそうになりました。そこで私は、周りの仲間を頼ることにして、クラスの出し物の準備を手伝ってもらったり、部活の仲間に部活に出られない分の居残り練習に付き合ってもらったり、実行委員長でわからない仕事があれば生徒会の人たちに相談に乗ってもらったりしました。そのおかげで、すべてスムーズに事が進んで最高の文化祭を過

ごすことができました。

そして私は一人で抱えこまずに他人に助けを求めることがいかに大切か気づくことができました。このことに気づかせてくれたあおい祭特別回にとっても感謝しています。

2 クラス企画

○ 各クラスの企画は次の通りです。スペースの都合により、各学年より2クラスをピックアップして企画の責任者にコメントをいただきました。

クラス	企画名	企画内容
1年1組	おばけ縁日	お化け屋敷×縁日
1年2組	あつまれ さんこうの森	あつ森風縁日（魚釣り）
1年3組	ひさしを倒せ！	キッキングスナイパー
1年4組	太鼓の達人 in 縁日	太鼓の達人 ヨーヨー釣り フォトスポット
1年5組	VS セーラー	キッキングスナイパー 人間たたき フォトスポット
1年6組	荒木廃病院	ホラー的仕掛けのある謎解きゲーム
1年K組	SDGsの展示会	SDGsをテーマにしたドレス展示
1年M組	ジブリパーク	ジブリキャラクターの展示とジブリ曲の演奏
2年1組	トイ・ストーリー・マニア	トイストーリーをイメージした射的とフォトスポット
2年2組	水戸第参高等学校 貳年貳組	廃校お化け屋敷
2年3組	ツカモトグラム	フォトスポット
2年4組	キャラフェス	自由がテーマの縁日
2年5組	私のペアリング	お化け屋敷
2年6組	VS2の6	コロコロバイキングとローリングコイントワー
2年K組	Club K	フォトスポット ミニゲーム

2年M組	チェキ	チェキ撮影と演奏動画上映
3年1組	戦慄杉田屋敷～〇〇を見つけろ～	恐怖のお化け屋敷
3年2組	名探偵智美さん～真実はいつも1つ～	謎解きゲーム
3年3組	もぐらピューロランド♡	サンリオモチーフのモグラたたき
3年4組	III-IV CASINO	トランプゲーム（ブラックジャックなど）
3年5組	TOY STORY 3.5	トランプ・射的・風船割り・ダーツ等
3年6組	VS 菊池	キングスナイパーとピンボールランナー
3年K組	ドレス展示会	衣装展示と映像鑑賞
3年M組	フォトスポット	フォトスポット

1年2組

初めての文化祭で私は豊富な経験を得ることができました。当日に向けて、今まで関わりがなかったクラスメイトと意見を出し合ったり、協力したりすることでクラス一丸となって頑張りました。しかし、出し物を長時間作製し続けることは想像したよりも過酷で、私は疲労困憊でした。当日、私は受付係をしていて、「楽しそう」というお客さんの言葉を耳にしたとき、この日のための苦勞が報われたと思えました。今回の文化祭を通して、クラスの雰囲気がより明るくなり、団結力が高まったと感じます。このクラスの仲間との残りの学校生活をより充実したものにしてくれたのは、文化祭であり、改めて開催するために支えてくださった先生方や実行委員などの皆様に感謝いたします。

(1-2 松井 愛理)



1年3組

私たちのクラスではVS嵐を参考にして「ひさしを倒せ！」を行いました。準備期間では放課後まで残って準備をしてくれる人が沢山いてクラスのみんなの心が一つになっていくのを実感し



ました。本番当日では練習通りにいかなくてトラブルがとて多かったです。しかしその場にいた人が自分たちで対処の方法を考え行動してくれました。短い準備期間で作り上げることはとても大変でしたが、一人では作り上げることができないものでも皆の意見や協力によってより良いものを作り上げることができました。今後も文化祭の経験を活かし、クラス一丸となって学校に貢献できるように励んでいきたいです。

(1-3 富田 和実)

2年2組

わたしがあおい祭を通して得られたものはクラスの団結力です。まだ6月ということもあり、あまりクラス全体の仲が深まっていなかったと思いましたが、あおい祭でのコミュニケーションを通じて団結が深まったと思います。あおい祭当日、私達2-2はお化け屋敷を企画しました。お化け屋敷には様々な種類があり、どのようなコンセプトにするかクラスのみんなで話し合いを重ね、「廃校」に決定し準備を進めました。一からお化け屋敷を制作するのはとても大変で、多くの時間を費やしましたが、その分クオリティの高いものを完成させることが出来ました。あおい祭の2日間、どちらもたくさんのお客さんが来てくださり、頑張って良かったと心から思います。これからこのあおい祭で得られたものを学校生活や行事などに繋げていきたいです。

(2-2 田所 静空)



2年6組

私のクラスでは、以前放送されていた「VS嵐」という番組のコロコロバイキングとローリングコインタワーを再現しました。私は、ローリングコインタワーの準備に携わりました。初めは、コインの色やデザイン、大きさなどメンバー内で意見の食い違いが生まれることもありました。しかし、一人一人が真剣に取り組み、協力し合うことで、想像よりも素晴らしいものを作り上げることができました。このように完成できたのは、来場される方々に喜んでもらいたいという気



持ちが一人一人にあったからこそだと思います。そして、文化祭を通して、クラス全体の絆がより深まったと感じます。来年は、更に絆を深めて、今年よりも良いものを作り上げたいです。

(2-6 池田 香菜)

3年3組

私たちのクラスは、サンリオモグラたたきをしました。準備では、話がうまく噛み合わず、時間がかかってしまいました。

1日全て準備の日は、みんなで意見を出し合い、頑張って完成させることができました。分担を決め進めていく中、自分の所が終わったり、ひまになったら、担当じゃない所を積極的に手伝ったりしていて、とても団結力を感じることができました。

文化祭当日は、たくさんの人が楽しんでくれて、とても嬉しかったです。

生徒会のみんな、特別回ありがとうございました！

(3-3 高橋 茉央)



3年5組

高校生活二度目の文化祭。1年生の時とは比べものにならない、学びを得ることができました。

学びの一つに、協力することの大切さがあります。文化祭では、クラス企画や、クラスTシャツ作り、予算の使い方など、短い準備期間の中で決めなければならないことがたくさんあり、クラス全員の意見を統一するために、クラス全員の協力が必要でした。また、実際に教室の装飾をしていく段階では、予想以上の作業量に戸惑いました。全員が協力し合い、その都度起こる問題にも臨機応変に対応できたことが、素晴らしい文化祭を成功させることに繋がりました。この経験を通じて、協力して一つのものを作り上げることの楽しさや大変さを改めて知ることができました。

文化祭をあおい祭特別回として開催してくださった先生方や生徒会の皆さんに感謝をし、この



3 体育館企画

- 体育館では2日間にわたり、音楽科、家政科、軽音楽部、書道部、ダンス部、コーラス部、吹奏楽部がそれぞれの特色を活かしたパフォーマンスを披露しました。各団体の責任者にコメントをいただきました。

音楽科

音楽科は、朝最初にステージ発表がありました。2～3年は全員出場で、チューバ、マリimba、ピアノを演奏しました。本番までに、楽器の練習はもちろんの事、ステージの流れも含めたリハーサルなども気合いを入れてやってきました。準備の時は、マリimbaを持ち上げるのが大変でした。また、連弾は2人で1つの音楽を作り上げるのでとても難しかったです。

本番では、みな自分のもっている良いところを出せていたと思います。文化祭を盛り上げられ



たのではないのでしょうか。終わった後、普通科の人達が、「良い演奏だった」と言っていたので安心しました。僕たちの仕事は、どんな時でも、人前で演奏する時には聴いてもらった人の心に影響を与える事なので、今回は達成できたのかな!?と思いました。おそらく来年もあると思います。来年は、今1年生のチルドレン達も出ると思うので、お楽しみに！ (2-M 田所 周琉)

家政科

今年は第27回目のファッションショーで、文化祭では大成功を収めました。テーマは「星降る夜の人形」で全46人がモデルとなり6部門に分かれています。毎年家政科の生徒が運営を行うのが恒例であり、モデル以外の生徒も会場作成や照明、音響など色々な仕事を分担してショーを作り上げています。

今回大変だったのは生徒会や先生との話し合いです。体育館を借りる時など、体育の先生、生徒会、家政科の先生全てとコンタクトを取らねばならず、先生たちを探して学校中を回ったりしました。

大勢の先生方や仲間の力を借りて最高のファッションショーを作り上げることができました。
この文化祭が今後も続いて行って欲しいです。

(3-K 堀川 夢生)



軽音楽部

このあおい祭は、準備から当日まで、私にとって一生忘れられないであろう充実したものでした。特に軽音楽部の部長としての活動は、私に様々なことを教えてくれました。

そのひとつは、協力してくれる最高な仲間たちの偉大さです。部長という立場を経験するのは初めてで、右も左も分からない、そんな私が、あおい祭での大きなイベントのひとつである軽音楽部の校内ライブを企画するなんて、と不安でした。そこで私を助けてくれたのが部員や同級生、先生方でした。こんな短気で大雑把な私に協力してくれた、部員を始めとする方々には、感謝しかありません。そのおかげで、最高な校内ライブを開催することができて、本当に嬉しく思います。

ただ、それがあまりにも楽しく充実した日々でしたので、私の心には少しだけ、寂しさが残っています。

(3-4 戸井田 美咲)

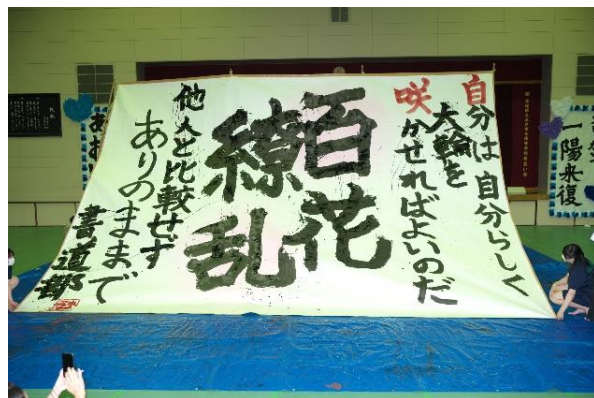


書道部

今年度のあおい祭では約4年ぶりとなる書道パフォーマンスを行いました。

準備期間では、紙を切り貼りするところから始まり、ペイントでの色づくりや外で紙を立てる練習など、限られた時間の中で沢山の練習とミーティングを積み重ねました。時には上手くいかない事もありましたが、本番までの時間は無駄ではなかったと、心から感じる事ができました。部員全員で創り上げた作品は、今までにない迫力と溢れ出る感情が伝わるものとなりました。出来上がった作品を見たときや、見に来てくださった人からお褒めの言葉を頂いたときはとても達成感があり、嬉しかったです。仲間たちと様々な努力や苦勞をともにしたパフォーマンスは、かけがえのない思い出となりました。

(2-6 石井 綾音)



ダンス部

「あおい祭」でのステージ発表は、私達3年生にとって引退前最後のステージでした。最高の



パフォーマンスをお客さんに届けられるように意気込んでいましたが、周りからの期待が大きくプレッシャーに感じてしまうこともありました。直前のリハーサルで早着替えがうまくいかないなどの不安な点がたくさんありました。しかしギリギリまで改善を重ね、後輩のサポートもあったおかげで悔いのない最高のステージを作ることができました。たくさんの声援は私達の力になりましたし、終わった後に「感動した」と言ってもらえたのがとても嬉しかったです。そして最後のパフォーマンスを顧問の先生、先輩、家族に見てもらえる機会を与えてくださったおかげで感謝を伝えることができました。

(3-4 小蘭江 楓花)

コーラス部

今年のあおい祭でコーラス部は、2日間計3回公演を行いました。6月の初めには水戸地区高等学校音楽会、1週間前には合唱講習会と忙しいスケジュールの中、仲間とともに発表を終えることができて安心しました。

そして、2日間の中で印象に残ったのは2日目の公演です。東日本大震災による原発事故で離

れ離れになってしまった生徒たちの思いを綴った「群青」という曲を歌いました。夏の合唱コンクール曲を中心に練習していて、この曲は本番直前での合わせとなってしまいましたが、涙を流して聞いてくださった観客の方々がいらっしゃったと聞いて、とても嬉しく感じました。

来年度は完全な形で、あおい祭を開催することができそうなので、さらに多くの方々の心に残るような演奏ができるように、合唱部員を増やして、練習に取り組んでいきたいと思います。

(2-4 近藤 穂乃香)



吹奏楽部

私たちは2日間で合わせて3回演奏させていただきました。コンクールに向けて練習している曲をはじめ、「リバイバルヒット・パレード」というテーマで、老若男女が楽しめる曲をセレクトしました。なかでも可愛いダンスを取り入れた「SNSバズリメドレー」や、我らが顧問の枝川先生の美声が響いた「マツケンサンバ」は、みんなが拍手やペンライトで盛り上がってくれて演奏していてとても楽しかったです。

練習ではコンクールと同時進行しなければならず大変でしたが、友達の前で演奏するということが今までできていなかったのも、たくさんの方に見ていただけて最後まで笑顔で演奏することができました。

これから行われるコンクールや定期演奏会に向けてさらに頑張っていきたいです。

(3-2 杉山 結衣)



4 展示発表等

- 文芸部、茶道部、美術部、JRC部、映画研究部、写真部、書道部は作品展示の他、来場者のためにイベントを行いました。その内容について、新聞委員がレポートをします。

文芸部

文芸部からはしおりやコロナなどを題材に作成したフォトポエムなどの展示作品が保育室に展示されました。

文芸部の展示作品は、メンバーが創造力を発揮し、個々の感性や表現力が引き出されていました。メンバーは自分自身の内なる世界や感じたことを詩に綴ったり、しおりを作ったりしました。完成した作品を展示し、学校の生徒に共有しました。

展示では、詩を使ってメッセージや感情を伝える場としました。作品を見に来た多くの人々が感動や共感を抱き、文芸部の活動が広がりました。作品を通じて、他者とのつながりや感動を生み出しました。

(1-5 岡崎 柊花)



茶道部

茶道部はあおい祭でお茶にまつわるクイズや茶道に必要な道具の展示を行いました。

クイズは、お茶の由来や歴史を、日本史を絡めた内容で難易度は高かったですが、より深くお茶について知ることができました。クイズに挑戦した方は、問題を解いて終わりではなく、疑問に思ったことなどを個別で質問しに来てくださる方が多かったそうです。

展示は、茶道で使う道具である茶筌や炉釜がありました。また、季節の和菓子や季節の花など四季に関わる展示も行っていました。

日々の部活動で実際にお茶をたてたりしてお茶についての理解や知識を深めていることが分かる出し物となっていました。

(3-4 横須賀 瑠香)



美術部

今年のあおい祭で、美術部ではスタンプラリーと作品の展示を行いました。

スタンプラリーでは、顔の各パーツを1号館にばらばらに設置しました。スタンプを集め、オリジナルの顔をデザインしました。私のクラスでは、担任の先生や友達の顔をデザインして楽しんでいました。2日目には、親と一緒に楽しんでいる子供を多く見かけました。

また、美術室前廊下、美術室内では、テーマを「和風」とした作品の展示を行いました。同じテーマでも、個人ごとに雰囲気の違う作品で、見ている人も楽しめるものとなりました。テーマをもとに制作した作品だけでなく、個人で制作した作品もあり、とても圧倒されるものでした。

(1-6 原 菜南子)



J R C 部

J R C 部は、生徒の皆さんの協力によって集められたペットボトルキャップで、今人気の「ちいかわ」と「ハチワレ」の立体のペットボトルキャップアートを昇降口に展示しました。大きく存在感のある作品で、文化祭でも多くの生徒や訪れた方々の目に留まったと思います。また、ごみ拾い活動の様子や青少年赤十字 100 周年記念作品コンクールの動画部門で最優秀賞を取ったことが紹介されていました。他にも献血についての流れや魅力がまとめられていて、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんのために行われていることが分かりました。この展示をきっかけに、誰かのために行動を起こそうと思う人が少しでも増えればいいなと思います。

(3-3 滝田 結菜)



漫画研究部

漫画研究部は、部誌やポストカード、ラミネートカードの配布をしました。

漫画やイラストが好きな方に興味を持ってもらうことができ、生徒はもちろん、一般の来場者の小さなお子さんや親御さんなど、様々な年代の方々が見に来てくださいました。

1日目、2日目ともに、たくさんの方が部誌やポストカード、ラミネートカードを受け取ってください、2日目の午前中には、部誌の在庫が全てなくなり、配付終了となりました。また、ポ

ストカードとラミネートカードもとても人気が高く、2日目の午後には、臨時で補充しました。
また、イラストが描ける体験型のコーナーもとても人気で、たくさんの方が集まっていました。

(2-K 相木 優花)



写真部

写真部では、各々が撮影した写真を昇降口で展示しました。

作品は、テーマを決めずにそれぞれが良いと思った写真を選んだので個性のなる展示になっています。

作品の題名も各自で決めており、自分が写真を通して伝えたいことを伝えやすくしています。普段の活動では、日常の風景をカメラにおさめて作品作りをしています。また、年に数回開催されるフォトセミナーにも参加をして技術の向上に努めています。フォトセミナーに参加することで、カメラだけでなくスマートフォンでの撮影を学ぶこともでき、多様な撮影技術を向上させることができます。

(2-3 橋本 悠来)



書道部

今回のあおい祭で、書道部の作品展示が1号館4階の書道室前で行われました。部員一人一人の個性豊かな作品は圧巻でした。

作品ごとに違う書体でかかれていたため、それぞれの特徴が生かされた違いを楽しむことができとても面白かったです。また、作品の隣には、感想が書かれた紙も貼られていました。部員自身が納得する作品を完成させるにあたってどのような書き方を意識したのかなど、工夫した部分などを知ることができ、作品をつくりあげるために積み重ねてきた練習が思い浮かぶようでした。

みなさんが普段書道に触れることは少ないと思いますが、今回のあおい祭で書道部のすばらしい作品を見て、知性や感性に刺激を受けたり、心が落ちつくような時間を過ごすことができたと思います。

(3-2 大塚 多恵)

